レンタサイクル案内

利用時間：9:00～17：00

■ご利用の手順

1．レンタサイクルの申込

事前予約は下記へ

紀北町観光協会（9：00～17：30）

TEL　0597－46－3555

※お電話にて、ご利用日、ご利用台数をお伝えください。（注意）受付の際には、身分を証するものが必要です。運転免許証・保険証・学生証などをご持参ください。

【ご予約の変更とキャンセル】
ご予約をキャンセルされる場合は、前日までにお知らせください。

当日のお申込は、下記の取扱所へ直接お申込ください。

注意：自転車の台数には限りがあります。

●紀北町観光協会
（道の駅紀伊長島マンボウ内）
TEL　0597－46－3555

●ふれあい広場マンドロ（月曜休館）
（ＪＲ紀伊長島駅横）
TEL　0597－47－1081

2．レンタサイクルの受取

指定の取扱所で申込用紙にご記入の上、代金と引き換えに自転車をお受け取り下さい。

【ご利用代金】

1日　1台につき　500円

3時間　1台につき　300円

3．レンタサイクルを返却する。

4．お申し込みの前に必ずご確認ください。

★レンタサイクルご利用中の事故等が発生した場合、保険適用範囲（ご利用の手引き「責任と保険」参照）以外の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。（保険料はレンタサイクルご利用代金に含まれています。）

タクシー案内

紀勢交通（有）0597－47－1511

バス案内

三重交通㈱南紀営業所海山事業所
0597－32－1321

紀北町観光協会

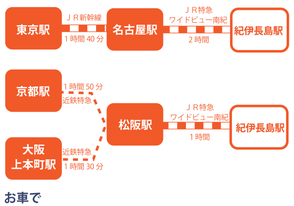
紀北町紀伊長島区東長島２４１０－７３
道の駅紀伊長島マンボウ内事務所
ＴＥＬ　0597－46－3555
ＦＡＸ　0597－46－3556
ＨＰ　http://kihoku-kanko.com/

紀北町観光協会ケータイサイト

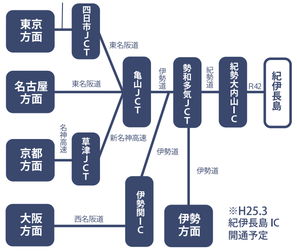
魚まち歩観会ホームページ（注意：スマートフォンのみ）

紀北町紀伊長島区（魚まち）への交通アクセス

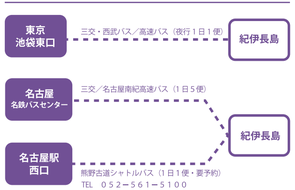
列車で



お車で



バスで



空路で

紀伊長島にゆかりの文学者たち

田山花袋

田山花袋（たやまかたい）は、明治31年27歳の時に紀伊半島を旅し、その際の紀行文が、『南船北馬　北紀伊の海岸』です。南船北馬の文中には、「その夜は町にても最も古く最も親切なりとへいる嵐屋といえる大なる一旅館にやどりたる」と記述されています。嵐屋は、江戸時代から続いた旅館で平成16年に廃業し、平成17年10月に所有者の西山茂氏から紀伊長島町に寄贈されましたが、老朽化のため平成22年に解体撤去されました。現在、跡地は嵐屋記念『花袋の広場』と名づけられ、碑が建立されています。

三浦樗良

三浦樗良（みうらちょう）は、本名を三浦元克（みうらもとかつ）という伊勢人です。出身地について、伊勢市説、鳥羽市説、紀北町紀伊長島区の地蔵町説があります。紀伊長島の百雄に教えをこい、俳諧の道に進み、江戸や京都などを転々とし墓は伊勢市にあります。32 歳のときには、熊野市新鹿を訪れ、そのまま滞在して最初の句集『白頭鳥集』を編纂しました。新鹿には英文句碑が建立されています。紀北町では、昭和 33 年、赤羽川河口に漁火吟社の人々の尽力により樗良名月句碑が建立されました。「嵐ふく草の中より今日の月」という与謝蕪村が激賞した句が刻まれています。

江戸川乱歩

『怪人二十面相』などの推理小説で有名な江戸川乱歩（えどがわらんぽ）が、長島沖に停泊中の汽船の中で大島をみてヒントを得たという作品が少年探偵シリーズの『大金塊』です。大島は、岩屋島や鬼ガ島の名で登場します。また長島は、「汽車の中でわむって、そのあくる日の昼ごろには、三重県の南のはしの長島町についていました。それは海岸の漁師まちでした。町じゅうに、磯くさいにおいがただよって、近くの海岸から、ドドンドドンという波の音が聞こえていました。」と書かれています。

鈴木牧之

鈴木牧之（すずきぼくし）は、江戸後期の越後（新潟県）の文人で、当時の大ベストセラーとなった「北越雪譜」の著者として名高い。流行作家の滝沢馬琴や十返舎一九らと交流がありました。「西遊記神都詣西国巡礼」は、寛政８年（1796）、27歳の時に、伊勢神宮から熊野を巡拝した折の道中記です。紀伊長島では、荷坂峠で「長崎や世を遁るなら此のあたり」など二句、古里で「古里や種蒔人に国忘し」など二句、姑神峠で二句を残しました。牧之の妹嬬は、長島出身説もある俳人・三浦樗良の俳諧の弟子です。牧之も子どもの頃、樗良に会ったとされています。

佐藤春夫

佐藤春夫（さとうはるお）は、新宮市出身の作家です。『山妖海異』という作品で、紀伊長島の「カンカラコボシ」というカッパにまつわる話が紹介されています。

伝説や民話が今も息づくこの町へようこそ

湊治郎左衛門とかんからこぼし

治郎左衛門は、腰の刀をぶっこ抜くといきなり「エイッ、ヤッ。」と切りつけた。「ギャア。」と物凄い叫びをあげて、かんからこぼしは水底深く姿を消したが、なんと腕だけは、馬のしりに、ぶらさがったままだった・・・

たかぼっさん

昔から長島の船は、どんな漁船でも、底のないひしゃくを一本つんで沖へ出たものです。大島や佐波留にかけての沖のダイナ（海原）の底に、「たかぼっさんという大入道がすんでいて、これに見つかるとどんな逃げ足の速い船でもたちまち追いつかれとっつかまえられてしまうんです。

※この二つのお話の続きは、かげ絵をご覧になってください。

かんからこぼし座のかげ絵

かげ絵を使って、魚まちの民話を子どもたちに伝えています。また、ホテルや民宿の依頼で宿泊客を対象に上映する場合もあります。

魚まち四季ごよみ

時期	行事名	行事内容
1月上旬～2月中旬	城腰紅梅	長楽寺の樹齢 270 年の紅梅が早春に八重の可憐な花を咲かせる。
1月８日	八日薬師	海から上がった薬師如来の初命日を祝う祭り。豊漁安全を願い漁業者の参拝客が多い。
1月11日	弓の祷	長島神社で行われる 200 年前から続く豊漁祈願の伝統行事。
1月11日	息子の酒	河童退治伝説に基づき、魚まちでは男の子が生まれると、正月、湊家を訪れ主人と親子の杯を交わす。
1月中旬	船だんじり	長島神社の祭礼。鯉船を模した山車に乗り込み、艫の一本釣り漁を演じる大漁祈願の伝統行事。
2月３日	鯛鯖うって	節分の日に「たいさま（鯛鯖）うって～」と、子供たちが、町なかの家々をまわってお菓子をもらう。
7月 第４土曜日	燈籠祭	夏の風物詩「長島の大燈籠祭」。海に浮かぶ燈籠と花火の大競演。
9月	昭和の縁日	おばけ屋敷にゲームや食べ物の屋台がいっぱい、子どもだけでなく懐かしい遊びは大人も楽しめる。
12月	年末きいながしま港市	新鮮な干物や魚介類が並ぶ年末恒例港市。買った物をすぐ焼いて食べられるセルフコーナーが人気。

世界遺産　熊野古道

伊勢路

紀北町には、世界遺産に登録されている峠が多くあります。峠を訪れた方は、ぜひ魚まちへ。魚まちを訪れたときには、ぜひ熊野古道へお立ち寄りください。四季折々の楽しみがあります。

荷坂峠

国道４２号荷坂トンネル（大紀町側）のすぐ脇が古道の降り口。しばらく行くと山間を走る列車の撮影ポイントがあるので見逃さないように。見晴らしの良い沖見平を経て、雑木とシダの山道を下り、道の駅マンボウまで歩くのがおすすめ。若葉とオンツツジの花が咲き乱れる頃が特に美しい。

ツヅラト峠

峠からの景色は、熊野古道伊勢路の中でも一、二を競うほどの美しさ。紀勢大内山 IC から車で７～８分の定坂公園からスタートして、紀北町側に降りるコースがおすすめ。九十九折れの道と石畳をゆっくり下れば、志子の花広場で里山の風景と出会える。

一石峠

※一石峠は世界遺産に登録されていません。

徒歩なら加田の「心泉園」前を出発、車なら「江の浦トンネル」の東口を曲がり、400mほどで駐車場へ。登り口には可愛いお地蔵さんがお出迎え。林道を下り車道を右に進めば古里の集落とみかん園が広がる。集落を抜け国道沿いに進めば三浦峠に至るサボ道、または「古里歩道トンネル」へ。

三浦峠（通称：ケケ谷道）

古里から道瀬へ抜けるサボ道は、明治時代に作られた水平道。紀伊の海に浮かぶ島々や熊野灘を望める。若宮神社を過ぎ道瀬海岸を経て、三浦峠（熊ヶ谷道）の登り口へ。桧（ひのき）林の中を進み、地元産桧の大木で作られた熊谷橋を渡れば JR 三野瀬駅には 10 分ほどで到着する。

姑神峠

姑神さくら広場の奥から行く江戸道と国道を横切ってから登る明治道の二つの登り口がある。頂上で合流するため周遊コースとなりお手軽。ゆるやかな道が続く初心者コース。頂上からは、点在する小島や半島が幾重にも連なる景色が広がる。

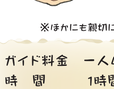
馬越峠

登り口が、国道沿い鷲下バス停のすぐ横という便利さと、石畳の美しさで熊野古道伊勢路人気№１。リピーターが多い。天狗倉山と便石山の間に位置するので登山愛好家にも親しまれ、また近くには銚子川や権兵衛の里がある。

魚まちガイドの紹介

魚まちにいる間、平成を忘れて昭和の時代に戻ってくださいね。 植田

古くからの魚まちの民話や生活を紹介しますよ。 山田



歴史は私に任せて下さい。解りやすくお話しします。 和手

※ほかにも親切に案内してくれるガイドばかりです。

ガイド料金　一人400円（５人以上）

時　間　1時間～1時間30分　要予約!!

連絡先　紀北町観光協会（0597－46－3555）

魚まちの「おすすめ」と「お楽しみ」情報！

朝の市場見学

朝７時～８時ごろ魚市場へ行くと魚の水揚げや競りの様子を見ることが出来る。忙しいのでじゃまにならないように見学してね。

昇降橋の上がるところ

魚まちは、船が優先。橋が上がると歩行者や２輪車は、遮断機の手前で船が通るのを待つよ。運が良ければ出会えるかも。

蘇民将来子孫門ってなに？

魚まちの漁師の家には、注連縄に蘇民将来子孫門の木札がかかっている。木札の由来は、ガイドさんに聞いてみよう。

長島弁で話そう

浜へ行けば漁師や先輩漁師のおじちゃんたちが毎日集まる「たまり場」があるよ。面白い長島弁を聞かせてくれるかも。「あばばい」って？？？

エビ網の出漁風景（11月～４月）

午後３時になると船着場から船が集まってきて一斉に沖を目指す光景は圧巻。

珍しい魚の干物をさがそう

いさばや巡りをして、珍しい魚の干物をみつけよう！！

アルファ橋からの眺望

アルファ橋からのながめは、江ノ浦湾と町並みが一望できる絶景ポイント。エビ網漁もここから見よう！！ただし、車に注意。

紀北町 きいながしま 魚まち散策マップ

古道魚まち歩観会（こどううおまちあるかんかい）

平成 24 年 3 月発行

表紙イラスト：元町夏央

魚まち散策マップ

至 熊野・新宮
熊ヶ谷道・始神峠・馬越峠へ
心泉園
卵自販機
加田西
誠洋水産
加田石道標・石仏
一石峠登り口
加田
サークルK
笠子工場
きいながしま古里温泉
豊浦海岸
高塚山展望台
海山方面へ
大昌寺格子絵天井
赤羽運動公園
円通閣
泉福寺へ
紀伊長島郷土資料館
（紀伊長島総合体育館内）
町指定文化財の彫物や古墳、漁業や暮らしの道具などが展示されています。（月・祝休館）
地蔵庵
小川商店
歩道トンネル
岡ノ上（おかんの）
（西町聖観音像）
西町大師堂
土の壺
長島神社
西小学校
橋本商店
杉田商店
庄司商店
樹齢800年といわれる大クスには、不思議な形のこぶがあります。
長島神社鑑
SUZUYA
骨董うぶや
川合屋
太田屋
本町道標
浅岡商店
マルミヤ
津波供養碑
仏光寺
太田尚古堂
湊家
ルビ脇産青果
高野聖
居酒屋
よしや
江ノ浦湾
魚魚や
弁天島
浜口熊嶽師銅像
江ノ浦昇降橋
おんじゃんのたまり場
この辺りに直売の「干物屋」がたくさん並んでいます。
東魚店
上保海産加工場
紀勢加工場
加工場
三屋商店
ミネチャン
中ノ島
井谷酒店
中ノ島浅間祠
鏡神社
大黒様（福の神）
すし善
海野浦
黒浜海岸海水浴場
比幾海岸海水浴場
古里海水浴場
きいながしま古里温泉へ
江ノ浦大橋（アルファ橋）
ここから魚まちと江ノ浦湾が一望できます。
城腰（長島城跡）
戦国末期の領主・加藤氏の城跡。織田信長や信雄に仕えた甚五郎は、この城にこもり堀内氏と戦いましたが敗れました。長楽寺はその菩提寺。
記念碑山
五輪供養塔
長楽寺
岩の壺
助休庵石地蔵
古くからの共同水汲み場。山水を蓄えてろ過しています。お堂には、里人手づくりの木彫り仏（水神さま）が祀られています。
早春に花を咲かせる樹齢 270 年を越す城腰紅梅（じょうようこうばい）が有名です。
多目的会館
孫助屋
紀北信用金庫
長島ショッピー
寿し政
ルミ
又吉屋
浦町庚申堂
第三銀行
手づくり工房・フーイワオ
魚まち案内板
海幸
花袋の広場
紀北町保健センター
玉屋商店
旧熊野街道
市野商店
若葉
魚政商店
熊嶽邸跡
紀北町商工会
紀伊長島郵便局
OKAZU
来々軒
どらや製菓
太久保魚店
やすらぎ
加賀
庄太屋（たいやき）
脇久商店
丸正加工場
伊勢エビ
三重漁連
レストランymk30
まえはま亭
紀伊長島水産加工業協同組合
三重外湾漁協
燈籠祭会場
海上に浮かぶ大燈籠と花火の競演がこの周辺でみられます。
きいながしま港市会場
長島港魚市場
大燈籠
長島港
琴比羅社
花福商店
風の広場
若い頃、長島にゆかりのあった現代彫刻家・国島征二さんの作品が野外展示されています。
ドウケ
万両
長島トンネル北
歩道トンネル
卵卵ふわあぁむ
ちいさな家
赤羽川
志子
有久寺温泉へ
ツツラト峠へ
新長島橋北
山本
紀伊長島IC（H25.3 開通予定）
二郷神社
長島島北
スーパー
東長島南
紀北町役場本庁（平成 25 年 1 月）
尾鷲警察署
紀伊長島幹部交番
百五銀行
ゆうがく邸
ふみきりや
井ノ島
地蔵院
東長島公民館
中州
回生病院
キリスト教会
養海院
呼崎
東小学校
名倉
お正月の 8 日、薬師さんでにぎわいます。お店もたくさん並びます。
名倉地区は釣り客用民宿が多い所です。古道客もOK！！
紀北町観光サービスセンター
道の駅 紀伊長島マンボウ
荷坂峠へ
片上北
片上南
戸ノ須
片上池
KAPPA 倶楽部
小山ハウス シーカマック
ふれあい広場 マンドロ
JR 紀伊長島駅
孫太郎オートキャンプ ホテル季の座へ
至 松阪・伊勢
サークルK
260

31 長島神社
祭神は須佐之男命など。神社は、長島城が落城した天正の合戦の兵火にかかり、古記録など全て焼亡したと伝えられる。天正 15 年（1587）再建された。社殿の高さ 8 mに及ぶ石垣は、江戸・天保年間、長島浦全村出会いで、大島から石を運んだものという。樹齢千年ともいわれるクスノキの巨木をはじめ境内の暖地性植物群落は、県指定天然記念物である。記念碑山・長島城跡に登る遊歩道に続く。

28 仏光寺津波供養碑
江戸中期・後期の津波の供養碑。右の碑文には、「300 年前に、津波のため 500 人以上が亡くなったこと、今後は、いち早く高所へ逃げるべきこと」が刻まれている。

28 湊家「息子の酒」
河童退治伝説で有名な初代湊治郎左衛門を先祖に持ち、何代にもわたって紀州藩長島組大庄屋をつとめた名家。湊家で正月に行われる「息子の酒」は、河童退治伝説に基づく江戸初期から続く漁師町ならではの行事。

30 往還町
一帯は、熊野街道をゆく旅人が利用した旅館街。はたご（食事付き）、木賃宿（自炊）が混在している。

44 浜口熊嶽さん
浜口熊嶽は、明治 11 年本下町に生まれ、那智山で修行して、後に「人身自由術」と称した霊術を身につけた。東アジア、欧米にまで名を知られ尾崎行雄、御木本幸吉と並んで三重県が生んだ三傑と称され、現在では近代最大の霊術家とたたえられる。昭和 18 年、65 歳で没。

いさば（五十集）屋
「いさば屋」は、海産業者の古称。明治から大正にかけ浦町には多数のいさば屋が軒をつらね、隆盛を極めたという。現在、「いさばや」は、江ノ浦周辺に多くみられる。

凡例

- 魚を扱うお店。屋号のある店は省略。
- 喫茶店
- 食事処、弁当
- お菓子・おみやげ
- レンタサイクル取扱所
- ガソリンスタンド
- トイレ
- 正 屋号。ほとんどが海産商を営む。左は、丸正商店。
- 熊野古道 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など
- 文化財 県または町指定文化財
- 緊急時避難路（ひなんろ）
- 一方通行

町なかでマンボウを見つけてね!! 居場所がわかるよ。

魚まちを歩くとマンボウ陶板が道案内をしてくれます。

1～62 番
- 地図に記載の番号と同じ
- 地区名
- 地区名ローマ字

24 浦町 URAMACHI